

令和3年度日本小児外科学会  
第3回定例理事会議事録

日 時：令和3年6月28日（月） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+Web

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・次期会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、大植孝治、  
田中 潔、瀧本康史、米田光宏（以上理事）、黒田達夫、山高篤行（以上監事）、  
照井慶太（庶務委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、仁田尾慶太（事務局）

出席者（Web）：

越永従道（理事・会長）、石橋広樹、内田広夫（以上理事）、田尻達郎（前理事長）、  
上原秀一郎（財務会計委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、新開統子（国際・  
広報委員会委員長）、尾花和子（保険診療委員会委員長）、井上幹大（教育委員会  
委員長）、高間勇一（悪性腫瘍委員会委員長）、宮城久之（小児救急検討委員会）、  
田附裕子（トランジション検討委員会委員長）、尾山貴徳（研究倫理委員会委員長）、  
文野誠久（ガイドライン委員会委員長）、家入里志（利益相反委員会委員長、施設  
認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、田中秀明（機関誌  
委員会委員長）、深堀 優（学術・先進医療検討委員会委員長）、木下義晶（倫理・  
医療安全管理委員会委員長）、藤代 準（データベース委員会委員長）、東間未来  
（ワークライフバランス検討委員会委員長）、内田恵一（規約委員会委員長）、  
伊勢一哉（NCD 連絡委員会委員長）、和田 基（医薬品・医療機器検討委員会委  
員長）、北川博昭（Pediatric Surgery International Publication Committee 委員  
長）、金森 豊（第37回秋季シンポジウム会長）、野田卓男（第38回秋季シンポ  
ジウム会長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

欠席者：増本幸二（理事）、菱木知郎（専門医認定委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、大植孝治理事、内田広夫理事とした。
  2. 令和3年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
  3. 審議事項
- 1) 各種委員会委員と業務内容の見直し並びに活動方針について（各委員長）

（1）各種委員会委員について

各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。

各種委員会委員長より、委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが承認された。

（2）業務内容の見直し並びに活動方針について

各種委員会委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議および適宜修正を行った上で、承認された。修正がされた委員会規則を含めて規約委員

で文言の調整を行ったうえで、HPに掲載することとした。

2) 第 59 回学術集会について (越永会長)

越永会長より資料に基づき、プログラム案が提案され、承認された。今回のセミナー・講習会は研究倫理委員会報告、専門医制度委員会報告、ワークライフバランス講演会を行うこととし、医療安全、感染管理、小児救急、NCD-小児外科領域会議については開催しないこととした。

日時：令和 4 年 5 月 19 日 (木)、20 日 (金)、21 日 (土)

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成

3) 第 60 回学術集会について (奥山次期会長)

奥山次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 5 年 6 月 1 日 (木)、2 日 (金)、3 日 (土)

会場：大阪国際会議場

4) 第 37 回秋季シンポジウムについて (金森秋季シンポジウム会長)

金森秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

PSJM2021・秋季シンポジウムのプログラム集について、今年は冊子体では発行せずに PDF 版でのみ発行することとした。また、抄録アプリに掲載できるかは確認することとした。今年はテーマも基礎研究よりのため、非会員の演題申し込みも可能とした。

日時：令和 3 年 10 月 30 日 (土)

会場：ベルサール神田

テーマ：再生医療と小児外科

5) 第 38 回秋季シンポジウムについて (野田次期秋季シンポジウム会長)

野田次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 4 年 10 月 29 日 (土)

会場：岡山コンベンションホール

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

6) 第 39 回秋季シンポジウムについて (臼井次々期秋季シンポジウム会長)

臼井次々期秋季シンポジウム会長より、会場は九州大学百年講堂を第1候補としており、日程は10月～11月の土曜日で検討中であると報告され、了承された。

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会 (照井委員長)

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2021年5月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,701名（うち海外1名）、評議員310名、準会員23名、名誉会員59名（うち海外8名）、特別会員68名（うち海外1名）、賛助会員1団体の合計2,161名+1団体である。また、理事会内規を規約委員会の方で整理されているが、庶務委員会も協力して進めることが承認された。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、抄録アプリの契約書を作成中であること、医師賠償保険の加入を会員宛にメール配信したことが報告された。

(3) 専門医制度委員会（家入施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

家入施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、日本専門医機構から小児外科専門医検討委員会の設置および規約の作成依頼があり、作成した名簿および規約が提出され、承認された。今後整備基準も8月末までに作成し、日本専門医機構に提出予定である。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(5) 国際・広報委員会（湊本担当理事）

湊本担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、優秀ビデオ賞に副賞を設けてはどうかと提案があり、来年度から副賞として10万円予算計上することが承認された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、NCD データを用いた研究計画書 6 件の申請があったと報告があり、研究倫理委員会の審査待ちの状態であると報告された。審査終了次第メール審議を行うこととした。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、日本小児外科学会雑誌 57 巻 4 号にトランジション実態調査に関する報告を掲載したことが報告された。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より資料に基づき、新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究について、厚労科研（門田班）の資金を使って、アンケート調査を行う準備を進めていると報告された。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(19) 利益相反委員会（増本担当理事欠席のため奥山理事長）

増本担当理事欠席のため奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(21) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(22) 四者協関連（田尻前理事長）

田尻前理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

- 8) ロクロニウム臭化物の小児に対する持続投与について（奥山理事長）  
奥山理事長より資料に基づき、継続審議であった日本新生児成育医学会から依頼のあった件、倫理・医療安全管理委員会で作成した回答案で提出することが承認された。
- 9) 総合調整委員会諮問事項6での参考資料について（奥山理事長）  
奥山理事長より資料に基づき、6月18日付で閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2021の中の令和4年度予算編成に向けた考え方に「子供・子育てへの重点的な資源配分」とあり、日本外科学会の森理事長に相談したところ、学会から提言を出したらどうかとの意見があったため、今年の秋を目途に提言を作成し、提出する方向とした。
- 10) 庶務・財務会計委員会の任期について（奥山理事長）  
奥山理事長より資料に基づき、庶務委員会と財務会計委員会の委員任期は現状8年間の任期で運用されていることについて、その点の明記が定款施行細則や内規にも記載されていないため、庶務と財務会計委員会については任期を連続4期まで認めることについて記載するかそのままとするか、継続審議とした。
- 11) 胃瘻ボタンの新規コネクタ移行に関する問題について（奥山理事長）  
奥山理事長より資料に基づき、びわこ学園医療福祉センター草津の小児科医から今年の11月に切り替わる予定の医療機器経腸栄養のコネクタについて、学会宛に意見を求められたと報告があり、学会としては認定施設宛にアンケートを取るという手順があるので、まずはその申請を出してもらうこととした。

#### 4. 報告事項

##### 1) 理事長報告（田尻理事長）

- (1) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.383」を受領した。
- (2) 医学書出版からの寄贈本「ロコモティブシンドローム診療ガイド 2021」を受領した。
- (3) 日本泌尿器科学会からの通信文「理事長就任挨拶」を受領した。
- (4) 日本麻酔科学会からの通信文「理事長退任、就任挨拶」を受領した。
- (5) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針の追加賛同学会の報告」を受領した。
- (6) 日本助産師会からの通信文「理事長就任挨拶」を受領した。
- (7) 香港特別行政区政府からの通信文「海外で訓練を受けた医師による香港での医療行為を可能にする新制度について」を受領した。
- (8) 日本家族計画協会からの通信文「理事長退任、就任挨拶」を受領した。
- (9) 日本外科学会からの通信文「事務所移転のお知らせ」を受領した。

- (10) 日本医学会連合からの通信文「オンライン診療の初診に関する提言」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（悪性胸膜中皮腫）の一部改正について」を受領した。
- (12) 日本医学会からの通信文「医療用医薬品の電子化された添付文書の記載要領」を受領した。
- (13) 日本医学会からの通信文「第 31 回日本医学会総会ポスターデザイン募集」を受領した。
- (14) 日本医学会連合 2021 年度定時社員総会報告および日本医学会臨時評議員会報告を受領した。役員選挙が実施され、門田守人先生が会長に再任されたことが報告された。

2) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和3年9月7日（火）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_